



クルル村の虹の湖

絵とことば 江口^{みのり}真代

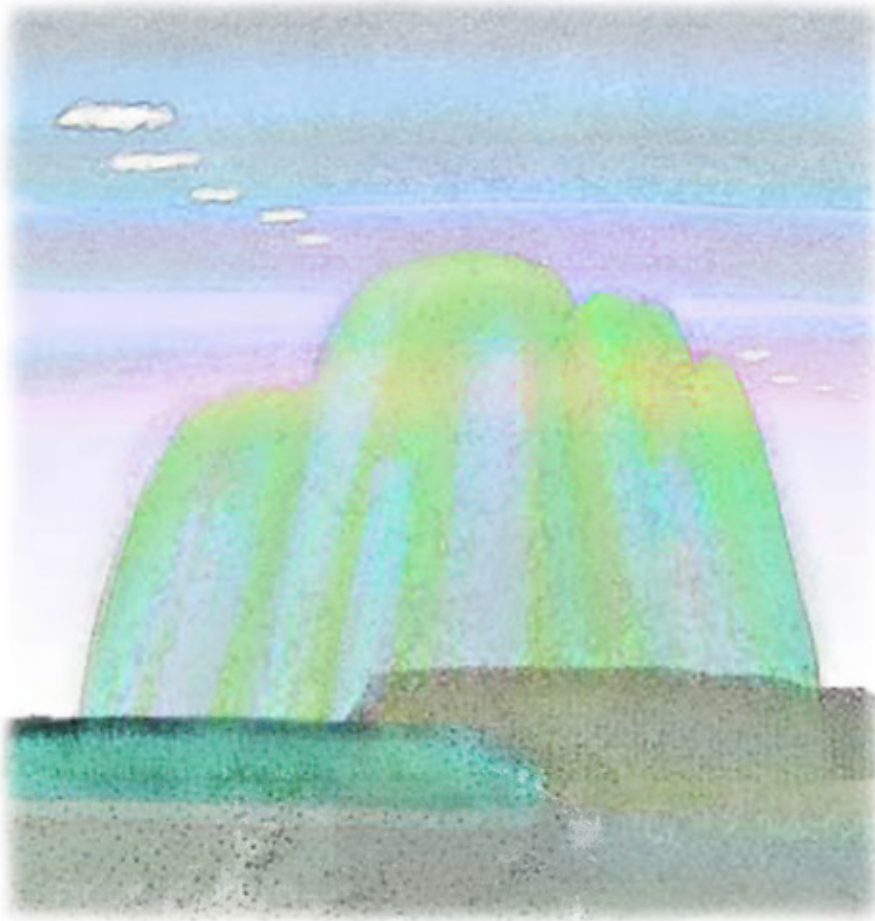
クルル村の虹の湖

絵とことば 江口^{みのり}真代



ぼくは思ったんだ。

おばあちゃんは、きっとそこに行ったことがあったんだよ。



「西の山」

ここから西に 3000 クルセカロード、山懷に抱かれて、クルルという村がある。

小さな村で村民も少ないのだが、村のはずれに小さな湖があり、不思議な湖としてちょっと有名であった。

その湖面は七色に光り輝き、あざやかな色のハーモニーは訪れる人の心を幸せにした。

クルル村は交通の便が悪かったが、その湖のおかげで、人里離れたあこがれの秘境として人々を引きつけていた。



「音楽と住む家」

湖の畔には、6つの家が建っていた。

犬好きな人が犬と住む家

ネコ好きな人がネコと住む家

子供のたくさんある人が子供と住む家

植物を育てることが大好きな人が植物と住む家

音楽の大好きな人が音楽と住む家

そして、静寂を愛する人が静寂と住む家。



「子供と住む家」

それぞれの家の住人たちはとても個性が強く、我も強かった。
そしてその強さから、それぞれの家は、とてもステキなハーモニー
を奏でていた。

6つハーモニーは夜になると月に反射され6色の色になり、湖に
吸い込まれた。

湖はもともとの色とたして7色に混ぜ合わせた。

6つの家の住人たちが、強く強く自分を主張すればするほど、
湖は素晴らしく美しく輝いた。



「植物と住む家」

この6つの家の住人たちは、とても仲が悪かった。

犬好きは、ネコが犬をひっかかないかとヒヤヒヤしていたし、うるさい音楽で犬の耳が悪くならないか心配していた。

ネコ好きは、子供がネコをいじめないか用心し、犬にかみつられないように素早くジャンプする技を教えた。

子沢山の親は、子供が犬に追い回されやしないか、ネコに引っ掻かれやしないか、気の休まる日がなかった。

植物好きは、犬が根を掘り起こしたりしないか、子供が花をめちゃくちゃにしたりしないかと、蜂を飼って用心した。

音楽好きは、犬の鳴き声、ネコの鳴き声、子供の泣き声が、せっかくの音楽を台無しにするのに我慢がなかった。

静寂を求める人は、このうるさい隣人たちに、湖を訪れる観光客の騒音に辟易していた。

6つの家の住人たちは、ことあるごとに喧嘩を繰り返した。あること無いこと心配し、文句を言い合い、疑って勘ぐって、必要以上に用心し、そして、みんな疲れ果ててしまった。

始めに子沢山の親が、このままでは子供に危害が加わるのではないかと、引っ越しすることを決意した。村を出る日、子供たちは湖のそばを離れたくないと泣きじゃくった。

そして、湖から色が一つ消えた。

次に、犬好きも引っ越しを決意した。山を降りる車の中で、犬たちは湖の方に向けて何度も何度も遠吠えをしていた。

湖からもう一つの色が消えた。

ネコ好きも、音楽好きも、引っ越していった。植物好きは、地植えの木を移動できないのが心残りだったが、たくさんの鉢植えと一緒に引っ越しをした。

湖は2色しか色が無くなった。

観光客も来なくなり、静寂を求めている人が望んだような静かさとなった。

ところが静になったら、今までわからなかった風の音がうるさくて、鳥の音がうるさくて、

蝶の羽ばたく音にさえ我慢がなくなって、

結局静寂を愛する人は、もっと静かなところを求めて引っ越していった。

湖はどこにでもある小さな湖になった。

いつしか、クルル村は人々から忘れ去られた。



それから月日がたち、カルン歴 1300 年頃のことだ。

旅人が雪に迷って湖にたどり着き、人の住んでいない家を見つけた。それは昔、植物好きな人が住んでいた家だった。昔植えられて、今はもう枯れてしまった木を薪にして暖をとった。春には、見つけた種を蒔いたらきれいな花が咲いた。

旅人はこの家を好きになり住み続けることにして、友だちに手紙を書いた。

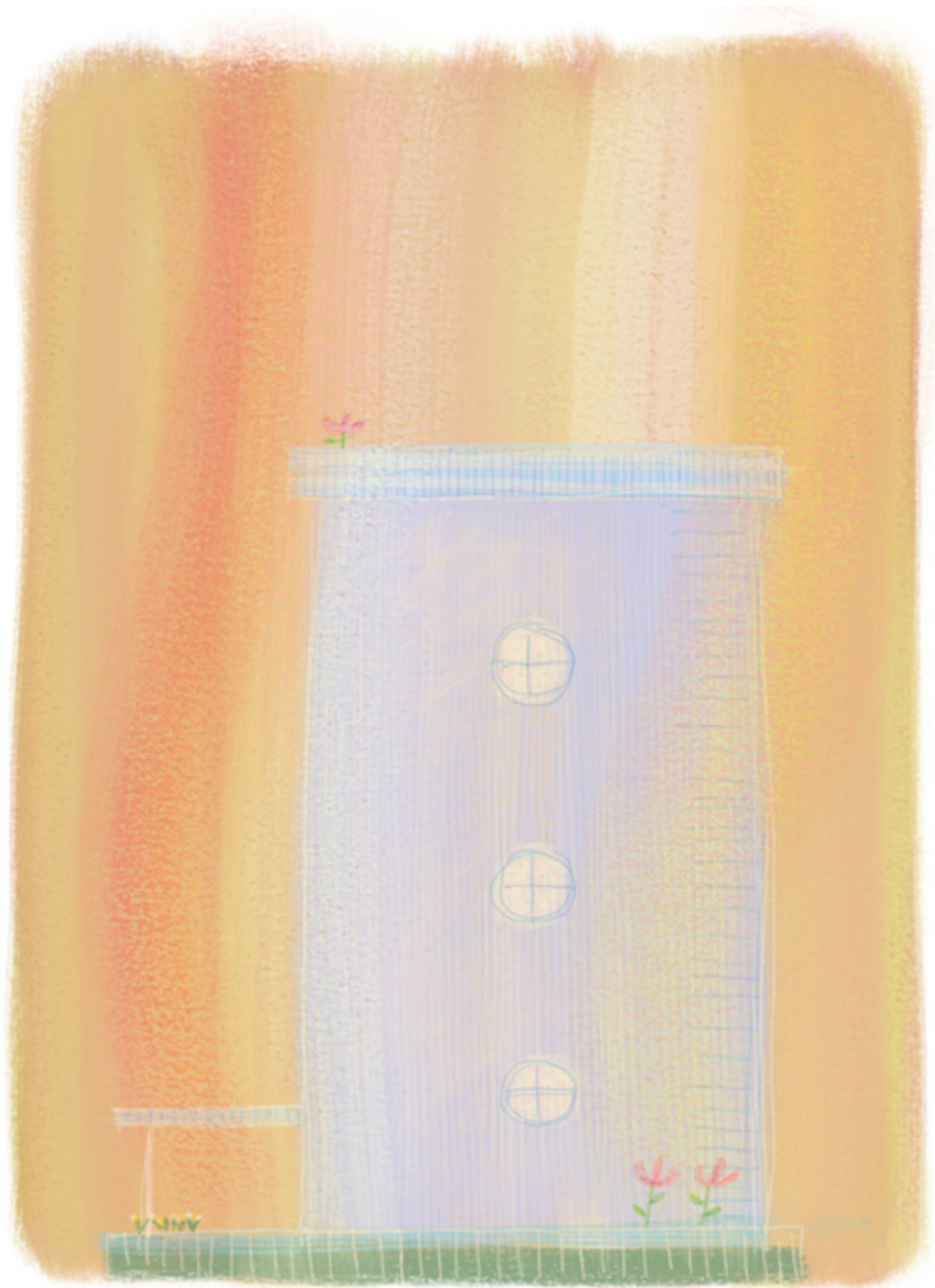


「イヌと住む家」

遊びにやってきた友だちは、昔犬好きが住んでいた家をととても気に入った。そして、犬小屋だらけの家にハトを沢山連れてきて住み始めた。

やがて、ネコ好きが住んでいた家には、日だまりがいいと老夫婦が住み始め、子供が沢山いた家には、子供部屋がいっぱいあるのがぴったりだと新婚カップルが、静寂を愛した人の家には、執筆に最適だと作家が住み始めた。

湖の畔で、6つの家族が、新しく、今度は穏やかに住み始めた。
やがて6つの家は小さなハーモニーを奏で始めた。
それは穏やかな人たちに似つかわしく、淡い色だった。



湖は、ほんのりと色づいた。以前とは違う色で。

ただそれは、空の青が映っているのか、新緑の緑がとけだしたのか、見分けがつかないぐらいの、ほんのちょっとだけだから、まだ誰も知らない。

クルル村の虹の湖

絵とことば 江口^{みのり}真代

Copyright Minori Eguchi
無断転用・転写を禁じます.

<https://www.cieloni.com/m>
info@supa.jp